

「理論も大衆をつかめば物質的な力になる。それが人をつかむのはラジカルになるときである。  
ラジカルであるとは物事を根本からつかむことである。」(カール・マルクス「ヘーゲル法哲学批判序説」)

科学的社会主義の立場で精確・厳密に学ぶ

# 『資本論』

## 講座 第1巻

5月6日(水・振休)  
開講

会場：エデュカス東京

教室・ZOOM同時開催 後日YouTube視聴可

現代社会のなぜ？  
それを解く鍵は…ここにある！

はたらく者の運命、  
“貧困・失業・道徳的墮落”は、なぜ起こる？

AIはあなたの敵、味方？

分断、生きづらさが生まれるのはなぜ？

## 第1巻講座

毎月1回 第1日曜 午後1時～5時〈全13回〉

受講料：30,000円

20代～30代10,000円、高校生、大学生、大学院生 無料

会場：エデュカス東京 または 東京労働会館 [裏面に地図]

## ガイダンス

2026年4月5日(日) 午後1時～5時

会場：エデュカス東京5階会議室 [裏面に地図]

教室受講資料代500円 zoom受講、第1巻講座に参加の方は無料

[演題]

新帝国主義戦争の“正義/不正義”のそろばん勘定  
—これも「ケア労働」？ おおもと「搾取」をただす—



講師 宮川 彰 首都大学東京 名誉教授・  
各地の『資本論』講座講師担当

【講師メッセージ】 超大国の仕掛けた新植民地主義侵略戦争は“割り”に合うのか合わないのか？ 市民視点では“正義/不正義” 評価のラチあかず、拗りどころ基準には、経済的物的利害に根ざす階級的観点を呼び覚ますことがもとめられます。第1巻テーマ“価値”とは“搾取”とはなにか？ “生産的労働/サービス〔ケア労働〕”とはなにか？ で鍛え直します。『資本論』の目で、階級的観点の“確かめ”を試してみましよう。ごいっしょに問題意識の醸成をはかります。



万国の  
労働者、  
団結せよ！

全て初めは  
難しい。  
でも、  
楽しいよ！

主催・問い合わせ

『資本論』講座東京協議会 第1巻運営委員会

tel. 090-8815-8157 (峯岸)

HP: <https://sihonron-tokyo.net>

Mail: [shihonrontk2@gmail.com](mailto:shihonrontk2@gmail.com)

『資本論』講座 第1巻(資本の生産過程) 年間スケジュール 2026年4月~2027年5月

	『資本論』第1巻の目次	このキーワードで現代を読み解く
ガイダンス 2026.4.5	新帝国主義戦争の“正義/不正義”のそらばん勘定 —これも「ケア労働」? おおもと「搾取」をたたく—	“ケア労働”、“搾取”の正しいマルクスのとらえ方
第1回 2026.5.6	「序言」:『資本論』でなにを、どう学ぶか、 第1章 商品「価値」を玩味する	科学の目(唯物史観)でフェイクや作り話を見極めよう
第2回 2026.6.7	第1篇「商品と貨幣」 第1章「商品」~商品とはなにか~	商品には「使用目的があり、価格がある」 当たり前だけど、どうして?
第3回 2026.7.5	第1篇第2章「交換過程」 第3章「貨幣または商品流通」~貨幣とはなにか~	お金万能、拝金主義がはびこるのはなぜ?
第4回 2026.8.2	第2篇 第4章「貨幣の資本への転化」 ~資本とはなにか、その誕生を見極める~	お金がお金をうみ、資本になりあがる仕組み
第5回 2026.9.6	第3篇「絶対的剰余価値の生産」 第5-7章~剰余価値の生産、その原理~	時給・日当が支払われて “労働はどう搾取される”?
第6回 2026.10.4	第3篇「絶対的剰余価値の生産」 第8-9章「労働日」 ~資本による搾取のつよめ方、その歴史~	労働日(1日の労働時間)の決まり方は? “隠された階級闘争”の意味
第7回 2026.11.1	第4篇「相対的剰余価値の生産」 第10-12章 ~生産力増強による搾取の強化、協業・分業~	生産力の発展で搾取が強められるのはなぜか?
第8回 2026.12.6	第4篇「相対的剰余価値の生産」 第13章~搾取強化の切り札、機械とその導入、その理論と歴史~	AI、ロボットは資本の儲けの切り札 時短が目的ではない
第9回 2027.1.24	第5篇「絶対的、相対的剰余価値の生産」 第14-16章~まとめ。生産的労働とはなにか? 経済サービス化~	教育、医療などのサービスは、 どう「生産的労働」と重なるか?
第10回 2027.2.7	第6篇「労賃」第17-20章 ~労賃とはなにか、賃金法則~	“労賃は労働の対価”や“労賃は力関係で決まる”のウソ 労賃とは何か?
第11回 2027.3.7	第7篇「資本の蓄積過程」第21-22章 ~蓄積のメカニズム:私有財産の秘密~	この世の財産(資本)はすべて搾取のあがり(なり替わり) 資本の正体を知り「自己責任論」をはね返そう
第12回 2027.4.4	第7篇「資本の蓄積過程」第23章 ~貧困化法則、失業法則~	はたらく者の運命=“貧困・失業・道徳的墮落”は、 資本増大のための必須条件
第13回 2027.5.5	第7篇「資本の蓄積過程」第24-25章 ~本源的蓄積、第1巻の未来社会の展望~	“盛者必衰”。資本主義の吊いの鐘を鳴らそう →未来社会へ

テキストは各自で、『資本論』第1巻邦訳原書ページ付きをご用意ください。その他は講師作成の要綱・資料を配布します。

**募集要項** 募集人員:教室参加者は30名定員、先着順。Zoom、YouTube受講者は無制限。  
 受講資格:『資本論』に興味のある方はどなたでも受講できます。初めての方も歓迎します。  
 受講料:30,000円 **20代~30代10,000円、高校生、大学生、大学院生 無料**  
 振込先: ゆうちょ銀行 10970-18378981【口座名】東京資本論講座



**エデュカス東京**  
 〒102-0084  
 東京都千代田区二番町12-1  
 東京メトロ有楽町線 麴町駅…徒歩2分  
 JR総武中央線市ヶ谷駅、四谷駅  
 …徒歩7分  
 地下鉄都営新宿線市ヶ谷駅  
 …徒歩7分



**東京労働会館**  
 〒170-0005  
 東京都豊島区南大塚2丁目33-10  
 JR山手線大塚駅  
 …徒歩6分

主催・問い合わせ 『資本論』講座東京協議会第1巻運営委員会 tel. 090-8815-8157(峯岸)

HP: <https://sihonron-tokyo.net>

Mail: [shihonrontk2@gmail.com](mailto:shihonrontk2@gmail.com)

